

日本医師会テレビ健康講座 ふれあい健康ネットワーク

『住みなれた場所で生きる・・・』

～ふくしま在宅医療の今～

福島県医師会会長 高谷 雄三

このたび、日本医師会企画・福島県医師会協力のテレビ番組を制作し、福島県民向けに下記のとおり放送することになりました。

つきましては、福島県内の在宅医療の状況について、県北・県南・いわきの活動を紹介しますので、ご参考にしていただきますようご案内いたします。

記

放映日：平成26年11月29日（土）午後4時25分～4時55分

放送局：福島中央テレビ（FCT）

内 容：

1. スタジオより 日本医師会常任理事 石川 広己 先生
福島県医師会副会長 木田 光一 先生
2. 県北の取り組み（丹治伸夫先生 他）
福島市の緩和ケア病棟、患者さんの笑顔、在宅医療の一環としての役割
福島市の在宅医療の活動と緩和ケア病棟との連携の取り組み
伊達市の在宅ケア地域連携カンファレンス（5人の医師と多職種連携）
3. 県南の取り組み（穂積彰一先生 他）
白河市で看護師が開設する高齢者・障害児の小規模デイサービスの活動
西郷村の障害者のためのデイサービスの活動
白河医師会の「医療・福祉情報センター」による在宅医療のバックアップ
4. いわきの取り組み（木村守和先生 他）
いわきの在宅医療出前講座「診療所と病院の医師が語る」を市内7か所
いわきの小学校4年生を対象とした「認知症絵本教室」と児童の反応
いわきの在宅医療、認知症・要介護になっても暮らせる地域づくり

『在宅医療』あなたはどうか考えますか？



入院中の高齢者は、家族と過ごしながら自宅で療養したいと思っている・・・
家族も、命に限りがあるのなら、住み慣れた家で最期を迎えさせてあげたい・・・
こんな思いを叶えるため、入院中と変わらない切れ目のない医療と介護を実現する取り組みが、
いま福島県各地で広がっています。

日本医師会テレビ健康講座 ふれあい健康ネットワーク

『住みなれた場所で生きる・・・』 ～ふくしま在宅医療の今～

2014 **11/29**(土)
午後4:25▶4:55放送

在宅療養には、医療スタッフ、介護スタッフ、リハビリスタッフ等々、様々な職種(多職種)の専門家が関わります。そんな多職種の間で顔の見える関係を作ること、そして、在宅医療を担当するかかりつけ医と入院していた病院の緊密な連携が必要です。

番組では、地域の事情に合わせ工夫された在宅療養のサポート体制を、在宅医療の現場密着取材でお伝えします。終末期の緩和ケア医療や、多くの在宅高齢者がかかえる認知症の問題についても詳しくご紹介します。

FCT  **福島中央テレビ**

企画 日本医師会 協力 福島県医師会 協賛  自然と健康を科学する 漢方の **ツムラ**